

ホームページには、ブラウザの「戻る」を利用してください。バックナンバーは申し訳ありませんが品切れです。

免疫化学測定法研究会年報 創刊号 (1997) 目次

松中 昭一 (会長) 会報創刊にあたって

第1回学術集会特別講演要旨 (1996年6月7日) 理化学研究所鈴木梅太郎記念ホール

- 石井 康雄 : 残留農薬分析法の現状とその問題点
- 有江 力 : 免疫化学的手法による土壌微生物の迅速同定
- 彼谷 邦光 : アオコ毒の分析法—規制値設定に向けての諸外国の動き
- 豊田 正武 : 食品衛生をめぐる最近の話題: マイコトキシン、動物用医薬品及びバイオ食品

第1回技術研修会 免疫化学測定コース(1996年7月29日~30日) 神戸大学共同研究開発センター

- 大川 秀郎 : 免疫化学測定法の基礎
- 喜多 寛 : 免疫化学測定のマイトキシン分析への応用
- 中田 昌伸 : 残留農薬の免疫化学測定法
- 三宅 司郎 : 下痢性貝毒オカダ酸群化合物の測定
- 片桐 昌直 : 免疫化学測定法による残留農薬の測定

第1回学術シンポジウム講演要旨(1996年11月1日) 神戸大学滝川学術交流会館

- 三宅 司郎 : 免疫化学的手法を用いた穀物中における残留農薬の測定
- 林 昌郎 : ベンズアニリド系殺菌剤の免疫化学的測定法の開発
- 井上 國世 : モノクローナル抗体利用の現状
- 中沢 裕之 : 食品分析とGLP
- S. Gee et. al. : Status of Immunoassay for Monitoring Pesticides and Environmental Chemicals

海外研究情報

- B. D. Hammock : アメリカ化学会の動き・ハモック先生の研究室の成果

事務局からのお知らせ

- 1997年(第2回)学術集会の演題募集
- 入会のご案内